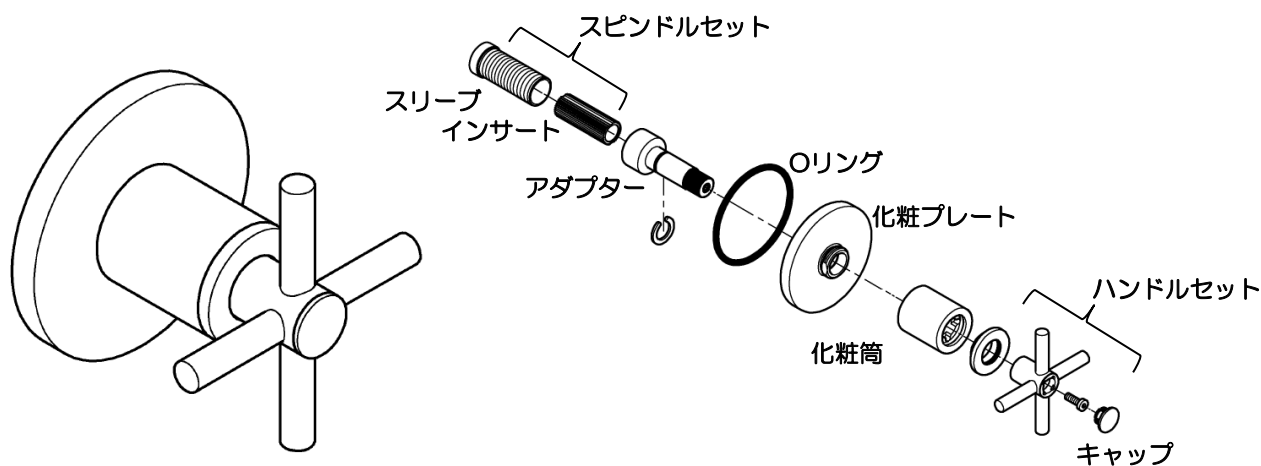


ATRIO 埋込ストップバルブ化粧部 クロスハンドル 据付説明書 (お客様にお渡しください)

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工完了後は、この説明書を同梱の取扱説明書とあわせてお客様にお渡しください。

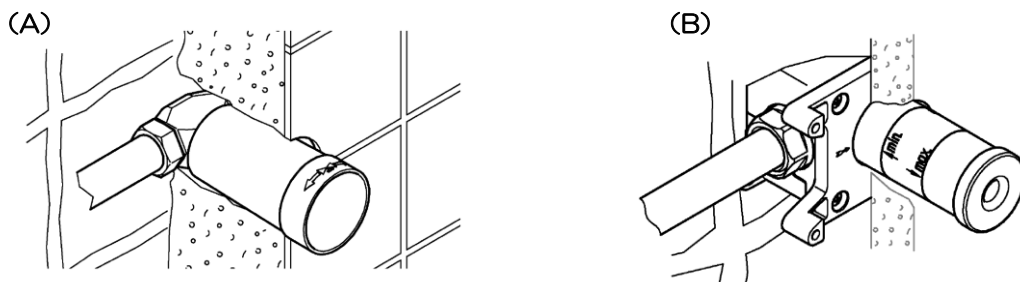
※欠品、キズ等が無いかわ据付前に必ず確認してください。万一欠品、キズ等があった場合はご購入先へ早めのご連絡をお願いいたします。



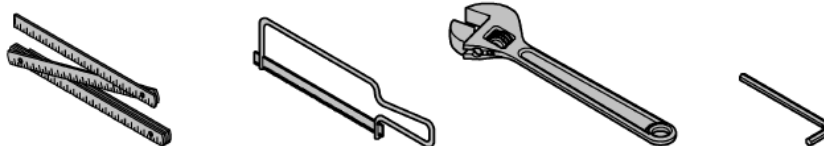
※壁の穴あけ寸法、壁面の化粧材厚みは埋込バルブの施工説明書をご覧ください。

埋込本体部について

本製品は(A)(B)のどちらの埋込本体部にも取付けることができます。



【必要工具】



※ その他、現地で必要とする工具をご用意ください。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.05MPa[0.5kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

やむなく圧力差が生じる場合は最大3:1以内になるようにしてください。

◇ガス給湯器(比例制御式:16号相当)と組み合わせる場合

最低必要圧力A+0.07MPa[0.7kgf/cm²](流動圧)～最高圧力0.74MPa[7.5kgf/cm²](静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

やむなく圧力差が生じる場合は最大3:1以内になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されております。

ハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件(給水温度5℃、吐出温度40℃)によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度(60℃)設定です。温度設定は60℃以上で使用しないでください。

◇給水圧力が0.74MPa[7.5kgf/cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●取付ける場合、必ず水受けを設けスラブへの防水を行ってください。

●本体を確実に固定する為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

●接続ネジは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2、R1/2)には使用しないでください。

●吐水口を取付ける場合は、接続ねじは平行ねじG3/4となります。

●吐水口、シャワー等の取出しには、市販のプラグで仮の止水を行って下さい。

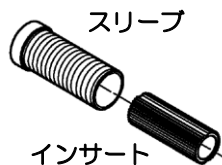
●逆流防止は付属していません。逆流のおそれがある場合(先端にホースを付けるなど)は、別途逆流防止を設置してください。

施工手順

スリーブとインサートの長さ調整

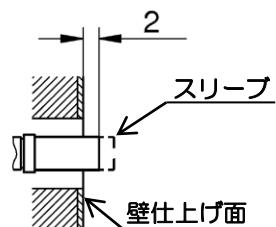
ポイント

スピンドルは、2つの部品で構成されています。
 どちらも埋込本体部に取付けて、壁の仕上げ面から2mm突出するよう、長さの調整をします。
 ※調整寸法を守らないと壁面に隙間があいたり、化粧カバーが取り付けられない場合があります。



スリーブの長さ調整

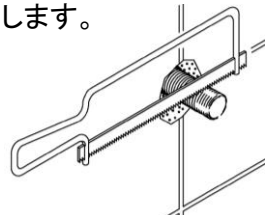
1. 埋込本体部にスリーブを取付けた状態で、壁仕上げ面から2mmの位置にケガきます。



注意

スリーブ
 スリーブは樹脂製ですので、取り扱いには注意してください。

2. スリーブのねじ部分を、1. でケガいた位置で切除します。

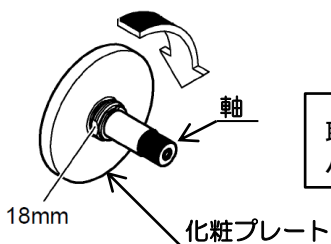


注意

- ・壁など家財を傷つけないよう、十分ご注意ください。
- ・ケガにご注意ください。

ハンドルの取付け

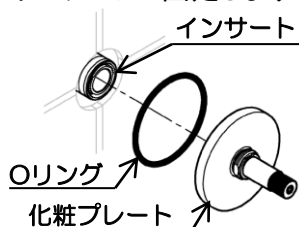
1. 化粧プレートに軸を取付けます



ポイント

取付けには18mmのスパナをご使用ください。

2. 化粧プレートの裏面にOリングをはめ込み、インサートに固定します。



注意

パッキンが溝からズレると漏水の原因になりますのでご注意ください。

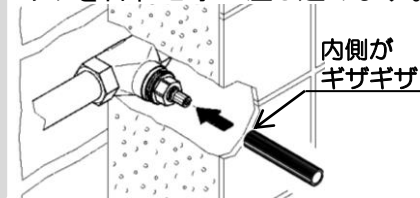
ポイント

化粧プレート裏面には溝があります。パッキンは裏面溝にはめ込みます。



インサートの長さ調整

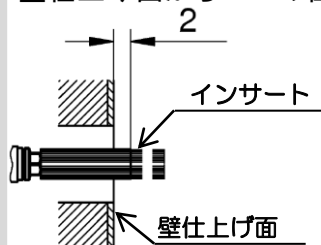
3. 埋込本体ヘッドパーツに、インサート内側のギザギザを合わせ手で差し込みます。



注意

インサートには上下があります。内側のギザギザを必ず確認し取付けてください

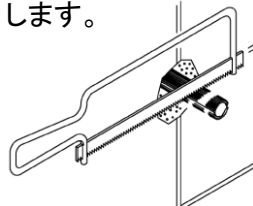
4. 埋込本体部にインサートを取付けた状態で、壁仕上げ面から2mmの位置にケガきます。



注意

インサートは樹脂製ですので、取り扱いには注意してください。

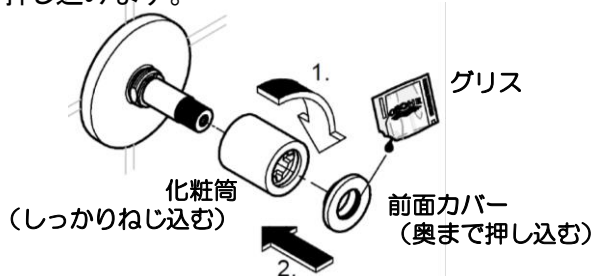
5. インサートのねじ部分を、3. でケガいた位置で切除します。



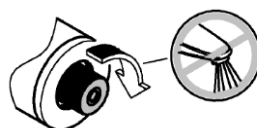
注意

- ・確実に固定されていることを確認してください。
- ・切断面はきれいに仕上げてください。ハンドルの取付けが困難になる場合があります。

3. 化粧筒を軸にねじ込みます。前面カバーはグリスを塗布し、化粧筒にしっかりと押し込みます。



4. ハンドルの軸を右にいっぱい回し、止水状態にします。



右に最後までしっかりまわしておく

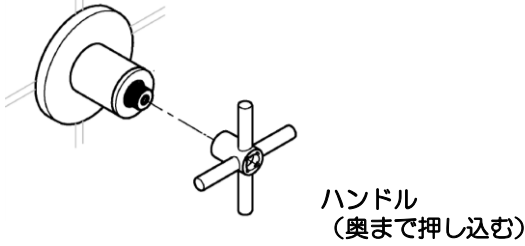
ポイント

壁内部へ水の浸入の恐れがある場合は、コーキング等シーリング材を使用してください。

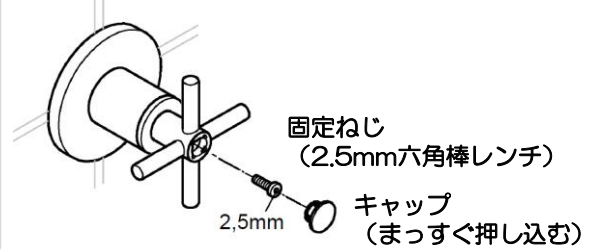
施工手順

ハンドルの取付け

5. ハンドルを取付けます。



6. ハンドルの固定ねじとキャップを取付けます。



取付後の確認

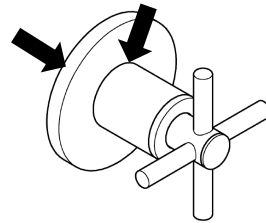
接続部の確認

吐水・止水を数回くりかえした後、下図の箇所を点検します。

- 壁面と化粧プレートの接続部
- 化粧プレートと化粧筒の接続部

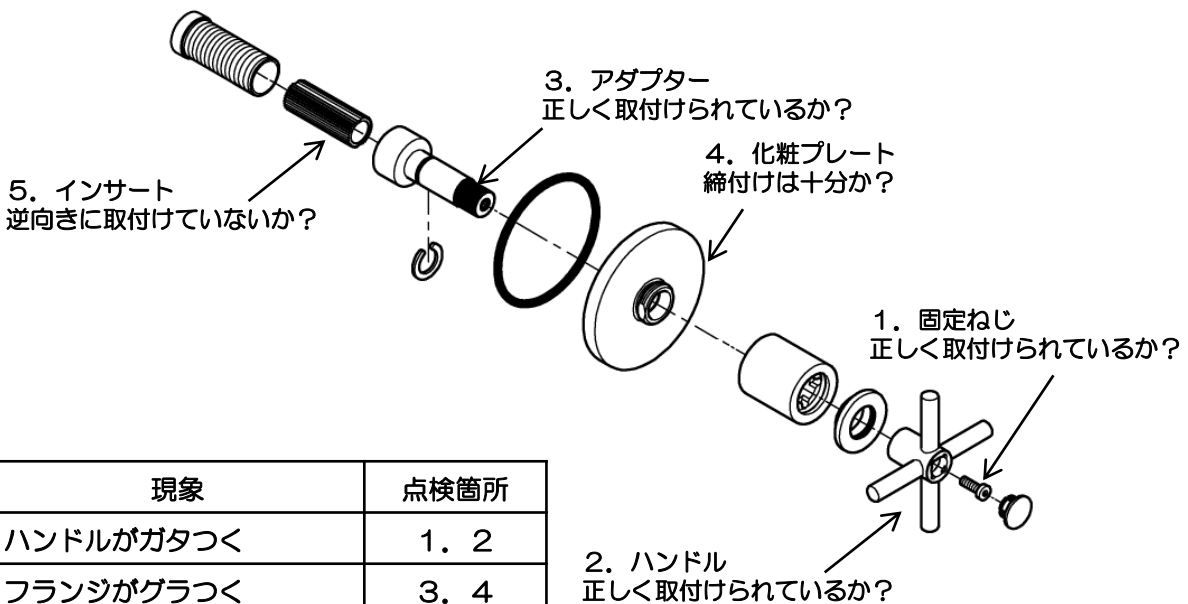
注意

※万が一漏水が確認された場合は、パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。
※Oリングの切れ等が漏水の原因となります。



故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所
ハンドルがガタつく	1. 2
フランジがグラつく	3. 4
水が出ない、止まらない	5

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>

PAG-0156